



日本整形外科スポーツ医学会 ニュースレター

No.8 2011年1月20日発行

■ 学会の新体制および今後の方向性について

理事長 高岸 憲二



皆さん、こんにちは。昨年9月に開催されました理事会におきまして理事長に就任致しました高岸憲二です。伝統ある本学会の理事長にご指名頂き、大変光栄に存じますとともにその重責をひしひしと感じております。新理事体制になりましたので酒井宏哉広

報担当理事にお願いし、紙媒体でニュースレターを発行していただくことになりました。

日本整形外科スポーツ医学会は、1975年5月第1回会議を大阪にて開催致しました。その後、35年経過し、会員数2,000名を数えるまでに至りました。

その基本理念は「整形外科領域におけるスポーツ医学ならびにスポーツ外傷と障害の研究の進歩・発展を目的とし、その成果がスポーツ医学の向上とスポーツの発展に寄与する」ことです。この理念を忘れることなく、理事の方々と共に努力していく所存です。

新理事体制についてご説明いたしますと、今後、業務内容が多くなることも予想されることから副理事長は二人体制となりました。総務担当は松本秀男理事、財務担当は麻生邦一理事です。下にそれぞれの委員会の担当理事をご紹介します。

総務委員会：松本秀男理事(新任)

財務委員会：麻生邦一理事(新任)

編集委員会：山下敏彦理事(再任)

中川泰彰委員長とともに日本整形外科スポーツ医学会雑誌の充実に向け努力されています。学会誌の出版社選定にも強力な指導力を発揮されました。

学術検討委員会：宮川俊平理事(再任)

広報委員会：酒井宏哉理事(新任)

国際委員会：別府諸兄理事(新任)

第3回日米整形外科スポーツ医学会合同会議が3月にハワイマウイ島にて開催されますが、開催にあたりAOSSMと交渉されました。別府理事抜きでは合同会議の開催はありませんでした。

教育研修委員会：久保俊一理事(新任)

本学会の重要な社会貢献である「高校生と大学生の医学セミナー」などのご担当です。

社会保険委員会：木村雅史理事(新任)

メンバーシップ委員会：大塚隆信理事(再任)

ガイドライン策定委員会：木下光雄理事(再任)

会則等検討委員会：加藤公理事(新任)

学会活性化委員会：筒井廣明理事(再任)

法人化検討委員会：帖佐悦男理事(新任)

また、監事は斎藤明義先生ならびに山本晴康先生です。

福林 徹理事は、来年度海外留学予定とお伺いしておりましたので、今回につきましては担当より、外れていただいております。以上、いずれもactiveな理事ばかりです。一丸となって行動していこうと考えております。

評議員は28名の先生方をお願いしております。また、本学会の事務局も今年より「コングレ」へと移転しておりますのでご承知おきください。

今後の本学会について理事長としての意見を述べますと、ご存知のように本学会は青木治人理事長の時代に、第32回(岡崎壮之会長)と第33回(黒澤 尚会長)は沖縄および札幌市において、日本膝関節学会・日本関節鏡学会と合同会議を開催致しました。3つの学会

と一緒に開催するというスケールメリットもあり、参加人数も多く、充実した学会でございました。第34回（武藤芳照会長）は東京都市センターホテルにて単独で開催されました。2年間の共同開催後でしたのでどのように行われるのか、大変興味もありましたが、「SWIM Congress」を標語にするなど『単独開催のよさ』を再確認しました。

第35回は私が会長となり、「若手医師および医学生が語るスポーツ医学」および「投球障害肩の診療の実際」などを行いましたところ、前橋市での開催でしたが、700名を超える参加者がありました。また、本年の第36回（別府諸兄会長）は第10回日韓整形外科学スポーツ医学会および第22回日本整形外科超音波研究会と併催され、Dr. Andrews, Prof. Fu, Dr. Cosgareaら AOSSMの重鎮を招待され、演題数も参加者も増えました。他の学会との合併は現時点では考えておりませんし、他学会

との併催については各会長のお考え次第です。

今後、学会の法人化の問題も避けて通れません。帖佐理事が担当される法人化検討委員会で、早急にご討議いただき、方針を決定したいと考えます。藤 哲前理事長が会長をされる第3回日米整形外科学スポーツ医学会合同会議など、海外の学会との結びつきも引き続き重要となりますので、別府理事の手腕に大きな期待をしております。

簡単ではございますが、私の所信を述べさせていただきます。

昨今、時代は大きく変革しておりますが、その変革の中でも本学会の存在意義を見失うことなく、本学会が更に発展するよう前進していきたいと考えておりますので、会員の皆様にはご協力の程、何卒宜しく願い申し上げます。

■ 第3回 日米整形外科スポーツ医学会合同会議の開催について

会長 藤 哲

日本整形外科スポーツ医学会 (JOSSM) は、2011年3月26-29日、HawaiiのMaui島にありますGrand Waileaにて第3回日米整形外科スポーツ医学会合同会議 (The 3rd Combined Meeting of the Japanese and American Orthopaedic Societies for Sports Medicine) を開催すべく、準備を進めているところです。この会は第1回が1991年1月22日-25日HawaiiのKauai島で、第2回は2年後の1993年3月20日-25日Maui島で開催されました。しかし、理由は定かではありませんがその後17年間開催されていませんでした。その間、アメリカ整形外科スポーツ医学会 (AOSSM) とJOSSMの関係をみると、どちらかという各施設間であるいは多くの会員が個人的に良好な友好関係を構築してきました。AOAとJOAあるいはASSHとJSSHの関係のようにお互いにTravelling Fellowが行き来し各National Meetingで多くの医師が参加・発表するような親密な関係を、AOSSMとJOSSM間が持ってきたとは言えません。

そこで、JOSSM理事会は2009年6月のAOSSMの学術集会で両者間会談を行い、この合同会議再開の話を持ちかけ、紆余曲折を経てようやく開催するところまで漕ぎ着けることができました。申し合わせ事項としては、5年に1回くらいのペースで開催し、交互にホスト役を担当し、今回はJOSSMがホストになることが決定されました。

今回のテーマは“Overhead Throwing”と決定され、パネルディスカッションとしてテーマに関連した

Shoulder Session

1. Biomechanics of the throwing shoulder
2. Treatment of the throwing shoulder

Elbow Session

1. Osteochondritis dissecans of the humeral capitellum
2. Medial elbow pain in throwing athletes

の4つのセッションを企画致しました。

特別講演として、Michelle G. Charlson (Hospital for Special Surgery, NY) 先生にご発表いただき、また、American Journal of Sports MedicineのEditor in chiefのBruce Reider先生にはAJSMへの投稿にあたっての注意点などに関して、お話しいただくことになっています。

一般演題として、口演60題 (JOSSM側から35, AOSSM側から25)、ポスター展示89題 (JOSSM側から77, AOSSM側から12) を採用致しました。総演題数149の内訳はKnee 57, Shoulder 30, Elbow 24, Hip 4, Spine 4, Foot & Ankle 2, Others 28とほぼ全領域に互っています。同時に開催される日米手外科合同会議の影響で、Wrist & Handの領域における一般演題応募はありませんが、両合同会議の申し合わせ事項として、どちらかのレジストレーションをすれば両方に参加することができるようになっておりますのでHand関係の興味ある演題を聞くことは可能です。

整形外科スポーツ医学の世界で最も進んでいる両国の著名な研究者、臨床医の先生方が数多く集まるため、情報発信を行う絶好の機会と考えております。特にこの貴重な機会を将来に繋げる第1歩とする為にも、できるだけ若い先生方が参加し新たなひとのつながりを作って欲しいと願っています。

最後に、Social Programとしては、Welcome Party, Garden Party, Golf/Tennisの日米対決など企画しております。またさまざまなOptional Programも用意しておりますので、ご家族をお誘いの上ご参加いただければと思います。

■ お知らせ

第3回日米整形外科スポーツ医学会合同会議

The 3rd Combined Meeting of the Japanese and American Orthopaedic Societies for Sports Medicine

会 期：2011年3月26日(土) - 29日(火)

会 場：グランドワイレア (ハワイ マウイ島)

※「第5回日米手外科学会合同会議」が 同会期、同会場にて開催予定

テ - マ：Overhead Throwing

学会 HP：http://www.congre.co.jp/3jaossm/

参加登録：事前登録 2011年2月24日(木)まで(ホームページからご登録ください。)

第3回 日米整形外科スポーツ医学会合同会議

会 長 藤 哲、Robert A. Stanton

編集後記

2011年も始まり、35年以上の歴史ある日本整形外科スポーツ医学会も高岸憲二新理事長の元、新理事体制にてこれからの発展が期待されます。今回久しぶりに発行されるニュースレターでは、新理事長から所信のご挨拶と学会の新体制、今後の日本整形外科スポーツ医学会の方向性について掲載させていただきました。

また、17年ぶりにHawaiiのMaui島でこの3月26日から開催される第3回日米整形外科スポーツ医学会合同会議について、会長の藤哲教授からご寄稿いただきました。ホスト国として、できるだけ多くの先生方に参加していただき、日米両国への情報発信をしていただき、学会を盛り上げていただくことを祈念いたします。

広報委員会では、最新の情報を適時配信するために、今後は会員のメールアドレスの把握が進み次第、現在のニュースレターとしての紙媒体での情報提供から、メールマガジンとして電子媒体での情報提供に切り替える予定です。そのためにも会員の皆様におかれましては、事務局へのメールアドレスの登録に是非ご協力をお願いしたいと思います。

(亀山 泰)

日本整形外科スポーツ医学会 ニュースレター No.8 2011年1月20日発行

編 集：日本整形外科スポーツ医学会広報委員会

酒井 宏哉(担当理事)、亀山 泰(委員長)、川上 照彦(アドバイザー)

大槻 伸吾、金岡 恒治、杉本 勝正、戸祭 正喜、山崎 哲也

発 行：日本整形外科スポーツ医学会

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル 株式会社コングレ内

TEL 03-3263-5896 / FAX 03-5216-3115

E-mail info@jossm.gr.jp URL http://jossm.gr.jp/